



石川県消防操法大会

西増穂分団・土田分団が出場

7月30日(土)、金沢市の石川県消防学校で、3年振りに石川県消防操法大会がありました。県内から予選を勝ち抜いた19チームが出場し、ポンプ車操法と小型ポンプ操法の2部門で、消火における基本動作の速さや正確性を競いました。

羽咋郡市の大会で優勝した西増穂分団と準優勝した土田分団が、ポンプ車操法の部に出場し、土田分団が8位(総得点:158.56)、西増穂分団が15位(総得点:145.69)という結果でした。

▲炎天下の中、県大会でポンプ車操法を披露する西増穂分団(写真左)と土田分団(写真右)

志賀町自衛消防隊操法大会

北吉田自警団が優勝

7月24日(日)、志賀町防災公園で、3年振りに志賀町自衛消防隊操法大会がありました。

4チームが出場し、小型ポンプ操法の技術を競った結果、北吉田自警団が優勝しました。参加団体は前回の10チームから半減しましたが、自衛消防組織の育成強化を目的に実施しました。消防署員による小型ポンプ操法披露や一斉放水も行われました。

- 優勝：北吉田自警団
- 準優勝：志賀原子力発電所自衛消防隊
- 敢闘賞：加茂自警団、志賀町役場自衛消防隊



北吉田自警団の小型ポンプ操法



県大会で好成績を収め、ねんりんピックに出場する皆さん

第34回全国健康福祉祭

ねんりんピック出場報告

11月12日(土)から15日(火)に、ねんりんピックかながわ大会に出場する選手16人が、8月3日(水)、小泉町長を訪ねました。代表してゲートボール監督・代表兼選手の岩崎久一さんが「大会では練習の成果を発揮し、志賀町の競技力の高さをアピールしたい」と話しました。小泉町長は「県大会での素晴らしい成績おめでとうございます。体調を万全にして大会に臨み、皆さんの健康増進にも尽力してください」と激励しました。

ペタンク・ブール協会の南進会長と体育協会の旭不二夫理事も同席しました。

| 氏名 | 出場種目 |
|---|--------|
| 辻口 美子 (監督・代表兼選手) 田中 静子、加茂野 義一、石田 友子 (選手) 瀬戸 久雄 (引率者) | ペタンク |
| 岩崎 久一 (監督・代表兼選手) 茨木 由美子、辻 勢津子、三池 外史、中田 政光、 土田 勇二、油谷 利代・新田 久直 (選手) | ゲートボール |

| 氏名 | 出場種目 |
|-------------|---------|
| 石川 喜治 (選手) | 弓道 |
| 大門 三枝子 (選手) | ダンススポーツ |
| 永田 清 (選手) | パークゴルフ |



志賀高校生がペイントしたコンテナ前で撮影する大学生

志賀×アゼルバイジャン 五輪の縁で

金沢大学生が大島海岸清掃でSDGs学ぶ

7月14日(木)、SDGs(持続可能な開発目標)を学ぶ金沢大学の人間社会学域国際学類と経済学類の学生25人が、大島海水浴場を清掃し、町の取り組みを学びました。

授業は、アゼルバイジャン出身で金沢大学国際機構のママードウァ・アイダ特任准教授が指導。東京五輪・パラリンピックで町がホストタウンを務めた際、言語・文化風習の指導をした縁で実施されました。学生らはプラスチックや漁網などを回収。清掃後は、B&G財団の補助事業の一環で実施する「フォトジェニックビーチクリーンin志賀」の取り組みを、町観光協会的小林克嘉理事が説明しました。

志賀高校レスリング部の角出直生さん

レスリングU17世界選手権で7位と健闘

7月25日(月)からイタリア・ローマで開催したレスリングU17世界選手権に、志賀高校レスリング部3年の角出直生さんが、日本代表として出場しました。男子グレコローマン71kg級で世界の強豪と対戦しました。

71kg級には、23選手がエントリー。角出選手は3回戦まで戦い抜き、順位は7位となりました。

| 試合回数 | 対戦選手国 | 得点 | 勝敗 |
|------|-------|------|-------------|
| 1回戦 | インド | 10-2 | テクニカルフォール勝ち |
| 2回戦 | エストニア | 9-0 | テクニカルフォール勝ち |
| 3回戦 | アルメニア | 1-10 | テクニカルフォール負け |



インドの選手と戦う角出さん(角出さん写真提供)



生徒全員が議場に座る体験をして、議会の説明を受けた

富来中3年生が役場本庁舎や議場を見学

志賀町の未来について考える

7月15日(金)、富来中学校3年生35人が、役場本庁舎を見学し、各課の取り組みや町の現状などを学びました。4月から始まった志賀町学校教育モデル『ふるさと教育』の一環で、生徒が地元の未来を真剣に考える良い機会となりました。まず、町の総合戦略について学び、第一次産業(農林水産課)か観光・企業(商工観光課)、インフラ維持整備(まち整備課)か少子高齢化対策(子育て支援・健康福祉課)を選択し、担当から話を聞きました。議会事務局は、議会の役割を教え、議場を案内し「未来の町長や町議が出てくるよう町づくりを勉強し、町に住み続けてほしい」と伝えました。

志賀中学校生徒会

ウクライナ救援金27,728円を町に寄託

7月21日(木)、志賀中学校生徒会の役員4人が間嶋教育長を訪ね、ロシアの侵攻を受けるウクライナの救援金として校内募金で集めた27,728円を町に寄託しました。生徒会長の曽根春奈さんと副会長の大岡未来さんは「ウクライナのために役立ててほしい」と救援金を間嶋教育長に手渡しました。町がウクライナ大使館に送金します。

志賀中学校では、生徒にウクライナとロシアの間で起きている紛争について考えてもらおうと、PTA実行委員や園芸ものづくり部の協力で、長方形の花壇をウクライナ国旗をイメージして整備。この取り組みに関連して、生徒会執行部が募金活動を実施しました。



▲募金箱を手渡す生徒会のメンバー

◀ウクライナ国旗をイメージした花壇



祝福を受ける泉美代子さん（中央の施設内）

いつまでもお元気で 町内33番目の長寿

矢駄の泉美代さんが100歳

7月25日(月)に100歳を迎えた矢駄の泉美代さんが、家族や施設職員から祝福を受けました。

長男の彰信さんは「母は料理が上手で、食卓にはいつも美味しいおかずが並びました。私たちには、きびしい面もありましたが、孫やひ孫をととても可愛がってくれます」と話しました。残念ながら、新型コロナウイルス感染防止対策のため、町からの祝状と祝金は本人へ直接手渡すことができず、家族を通して授与しましたが、授与当日、家族が施設を訪れ、美代子さんの100歳をお祝いしました。

いつまでもお元気で 町内34番目の長寿

二所宮の政氏とし子さんが100歳

8月12日(金)に100歳を迎えた二所宮の政氏とし子さんが、家族や施設職員から祝福を受けました。

義娘の邦子さんは「畑仕事に一生懸命で、よく働く人でした。現在は施設に入所していますが、家族には元気な姿を見せてくれます」と話しました。

残念ながら、新型コロナウイルス感染防止対策のため、町からの祝状と祝金は本人へ直接手渡すことができませんでしたが、誕生日の後日、家族に授与しました。



政氏とし子さん（家族提供）



（左から）和田君、神尾幸歩さん、神尾武幸君

志賀小4年の神尾武幸君・6年の和田君と神尾幸歩さん

トランポリン全国2位・全国陸上出場

8月15日(月)、志賀小児童3人が間嶋教育長を訪ねました。4年の神尾武幸君は、7月30日に大阪府で行われた全日本トランポリン競技ジュニア選手権の男子10才以下の部で準優勝。一位とは僅差で「次は優勝したい」と意気込みました。

8月20日(土)に横浜市で行われる全国小学生陸上競技交流大会に出場する6年の和田一真君と6年の神尾幸歩さんも活躍を誓いました。県予選のコンパインドB(走幅跳、ジャバリックボール投)で新記録をマークし優勝した和田君は「楽しんで頑張りたい」、コンパインドA(80mH、走幅跳)で優勝した神尾幸歩さんは「自己新記録を更新したい」と抱負を述べました。

NTN能登地区4社が寄付

障がい児福祉振興に役立てて

8月2日(火)、(株)NTN志賀製作所の邊田好則社長と同登製作所の山崎晴久社長が、NTN能登地区4社の代表として志賀町役場を訪れ、小泉町長に「障がい児福祉振興のため役立ててほしい」と寄付金5万円を手渡しました。

【グループ4社】

(株)NTN能登製作所 (株)NTN志賀製作所
(株)NTN羽咋製作所 (株)NTN宝達志水製作所



（左から）寄付を受け取った小泉町長と邊田社長、山崎社長